

歳出決算（性質別）の増減

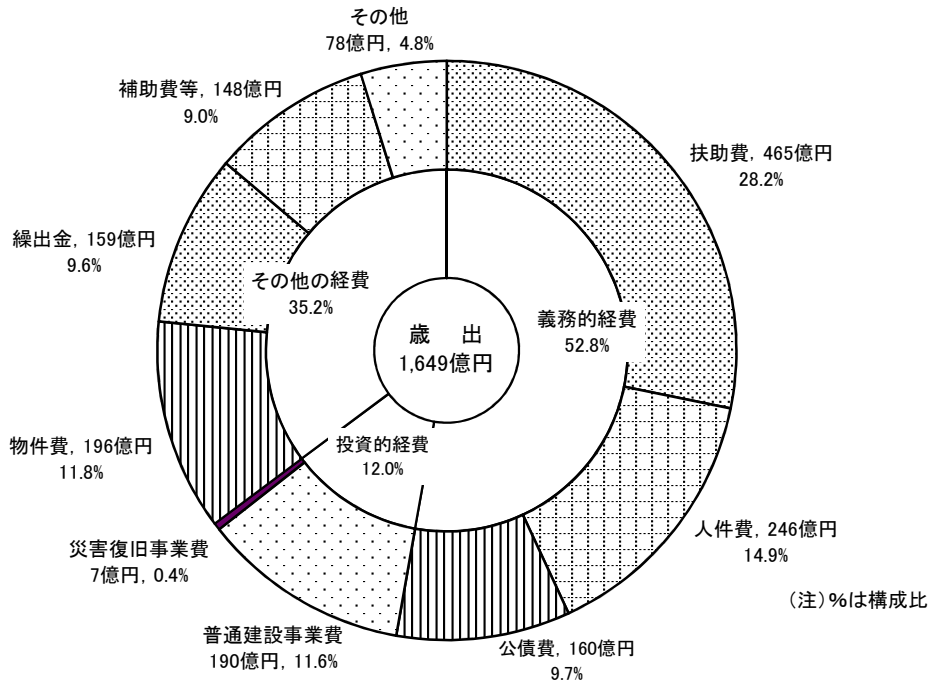
（単位：千円 %）

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
義 務 的 経 費	87,081,752	90,312,652	△ 3,230,900	△ 3.6
人 件 費	24,641,769	26,179,725	△ 1,537,956	△ 5.9
うち 職 員 給	15,384,514	15,762,857	△ 378,343	△ 2.4
うち 退 職 手 当	1,953,426	3,212,809	△ 1,259,383	△ 39.2
扶 助 費	46,492,557	46,024,907	467,650	1.0
公 債 費	15,947,426	18,108,020	△ 2,160,594	△ 11.9
投 資 的 経 費	19,713,468	16,440,005	3,273,463	19.9
そ の 他 の 経 費	58,082,816	59,757,011	△ 1,674,195	△ 2.8
物 件 費	19,547,679	19,507,100	40,579	0.2
維 持 補 修 費	1,439,700	1,463,460	△ 23,760	△ 1.6
補 助 費 等	14,783,979	15,296,144	△ 512,165	△ 3.3
投資及び出資金・貸付金	2,458,520	4,339,600	△ 1,881,080	△ 43.3
積 立 金	3,935,494	3,550,651	384,843	10.8
繰 出 金	15,917,444	15,600,056	317,388	2.0
合 計	164,878,036	166,509,668	△ 1,631,632	△ 1.0

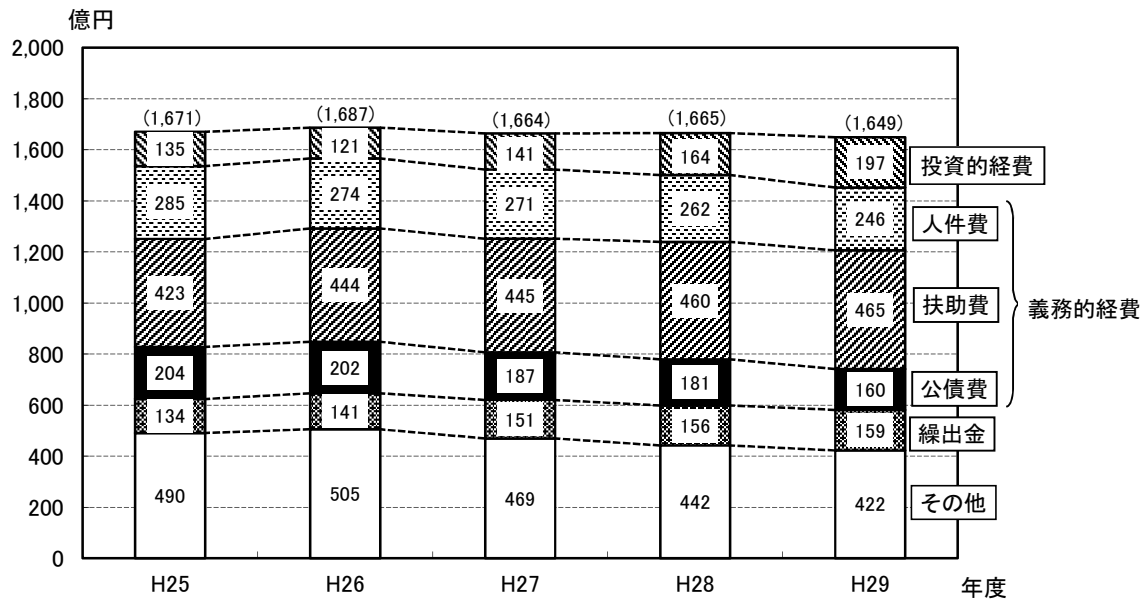
歳出は、総合体育館整備費の増などにより、投資的経費が増加した一方で、公債費や人件費の減による義務的経費の減少や、中小企業融資資金貸付金などの投資及び出資金・貸付金が減少したことから、全体では前年度より約16億円の減少となりました。

- 義務的経費は870億8,200万円（構成比52.8%）で32億3,100万円の減少
  - ・ 公債費の減少（△21億6,100万円）
  - ・ 人件費の減少（△15億3,800万円）
    - 退職手当の減（△12億5,900万円）
  
- 投資的経費は197億1,300万円（構成比12.0%）で32億7,300万円の増加
  - 総合体育館整備費の増（26億3,700万円）
  - 総合体育館周辺道路整備費の増（3億1,000万円）
  - 水呑交流館整備費の増（2億4,700万円）
  
- その他の経費の減少
  - ・ 投資及び出資金・貸付金の減少（△18億8,100万円）
    - 中小企業融資資金貸付金の減（△15億9,300万円）
  - ・ 補助費等の減少（△5億1,200万円）
    - 下水道事業会計負担金の減（△4億9,200万円）
  - ・ 積立金の増加（3億8,500万円）
    - 公共施設維持整備基金積立金の増（9億9,500万円）
    - 教育環境整備基金積立金の増（2億9,600万円）
    - 大規模事業基金積立金の減（△11億円）

## 2017年度(平成29年度)歳出決算(性質別)



### ・歳出決算額の推移



- ・ 投資的経費は3年連続で増加しており，前年度に比べて33億円の増加。
- ・ 扶助費は平成13年度以降17年連続で増加しており，平成25年度に比べて42億円の増加。
- ・ 人件費は平成25年度に比べて39億円減少しており，10年連続の減少。
- ・ 繰出金は，介護保険特別会計繰出金が増加したことなどから，前年度に比べて3億円の増加。